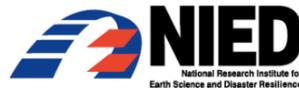


「機械処理可能な予測結果を利用した実験」における

長周期地震動指標WebAPIと サンプルツール



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

多様なニーズに対応する予測情報検討WG@気象庁大会議室 (2017/12/13)

© 2017 S. Aoi

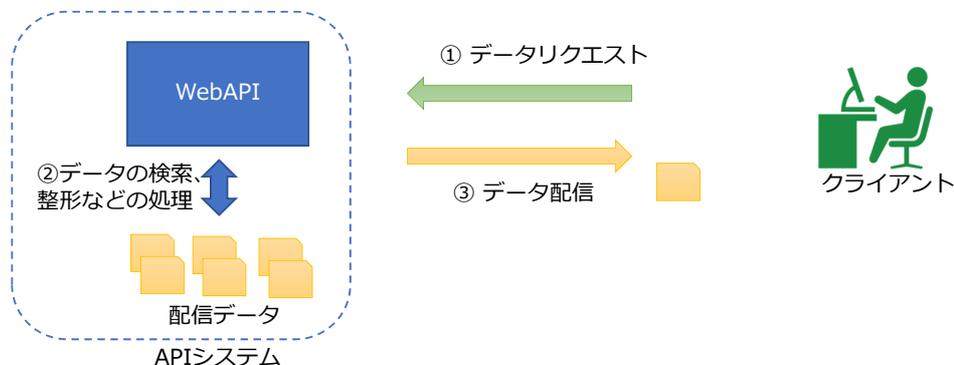
NIED, Network Center for Earthquake, Tsunami and Volcano

1



WebAPIとは

一般的にWebAPIとは、HTTP通信を用いてネットワーク越しにデータをやりとりするためのインターフェースです。クライアントはURLにパラメータ等を記載してリクエストすることで、必要なデータを取得することができます。



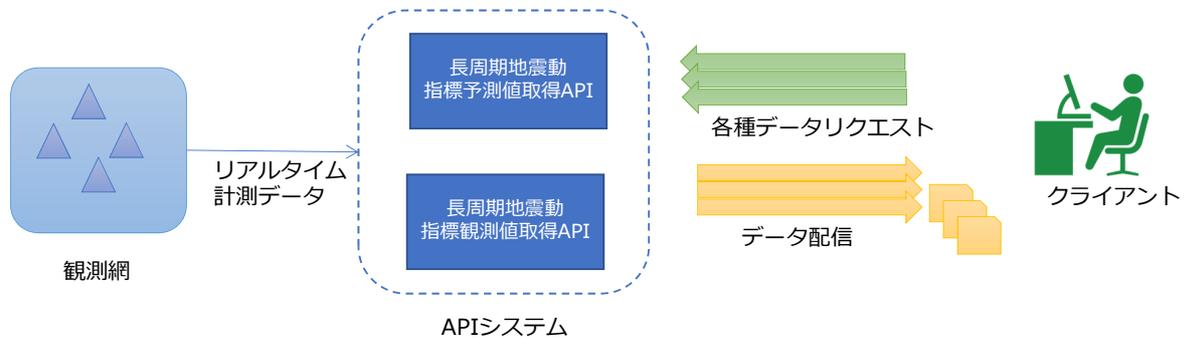
クライアントはリクエスト（緑矢印）を行い、配信データ（オレンジ矢印）を受け取る仕組みを作成することにより利用できます。

© 2017 S. Aoi

NIED, Network Center for Earthquake, Tsunami and Volcano

2

長周期地震動指標WebAPIでは、予測データや観測データを数秒の遅れでリアルタイムに取得することができます。クライアントはAPIに対して時刻を指定して適宜必要なデータをリクエストします。



長周期地震動指標取得API一覧

No	API名	内容
1	長周期地震動指標 予測 値取得API	緊急地震速報が発報された時に、指定地点(緯度、経度)の長周期地震動指標の予測値を配信する。当該予測値は全国規模の地盤構造モデルによって評価された補正值を用いる。
2	長周期地震動指標 観測 値取得API	強震観測点(K-NETおよびKiK-net)における長周期地震動指標観測データを配信する。強震観測点は、[近傍観測点コード取得API]より取得可能である。

上記のAPIを活用するための補助API

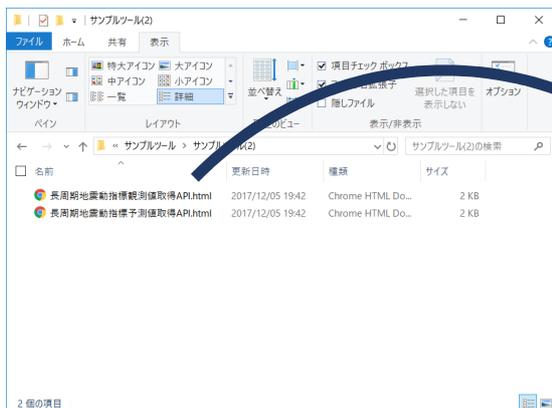
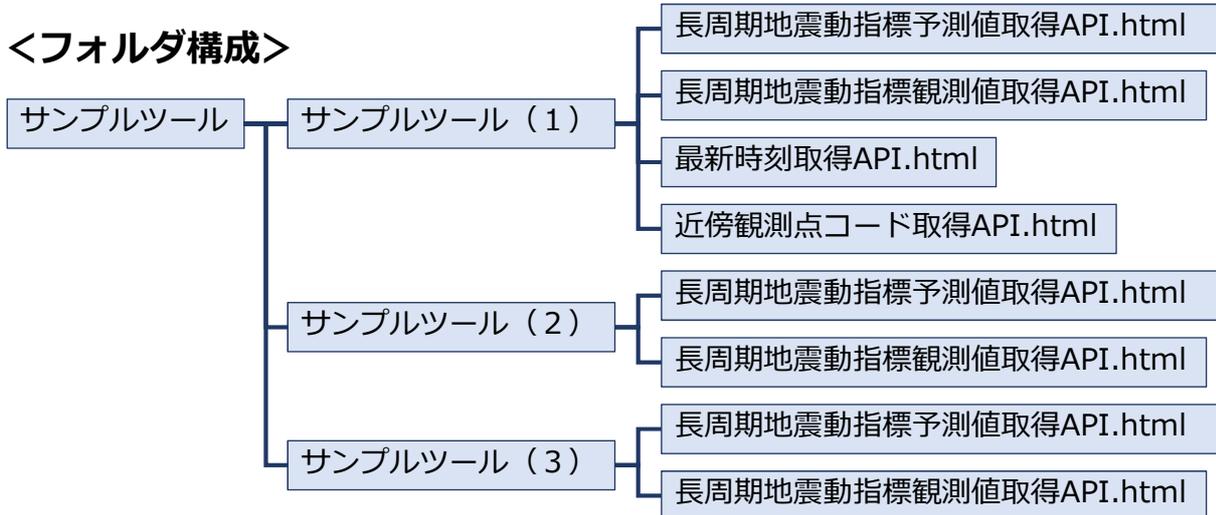
No	API名	内容
3	最新時刻取得API	取得先APIサーバのデータ最新時刻を配信する。
4	近傍観測点コード取得API	指定地点(緯度、経度)の近傍の観測点情報を配信する。

配布するサンプルツールにより、すぐに長周期地震動指標WebAPIをお試しいただけます。

ご利用者のPCのWebブラウザ上で↓が可能になります。

- (1) APIシステムからのレスポンスをそのまま表示
- (2) 特定の固有周期の絶対速度応答（予測/観測）を抽出して表示
- (3) 絶対速度応答（予測/観測）の表示を1秒間隔で更新

<フォルダ構成>



各ファイルをWebブラウザで開くことで値が表示されます



長周期地震動に関する情報が表示されます

